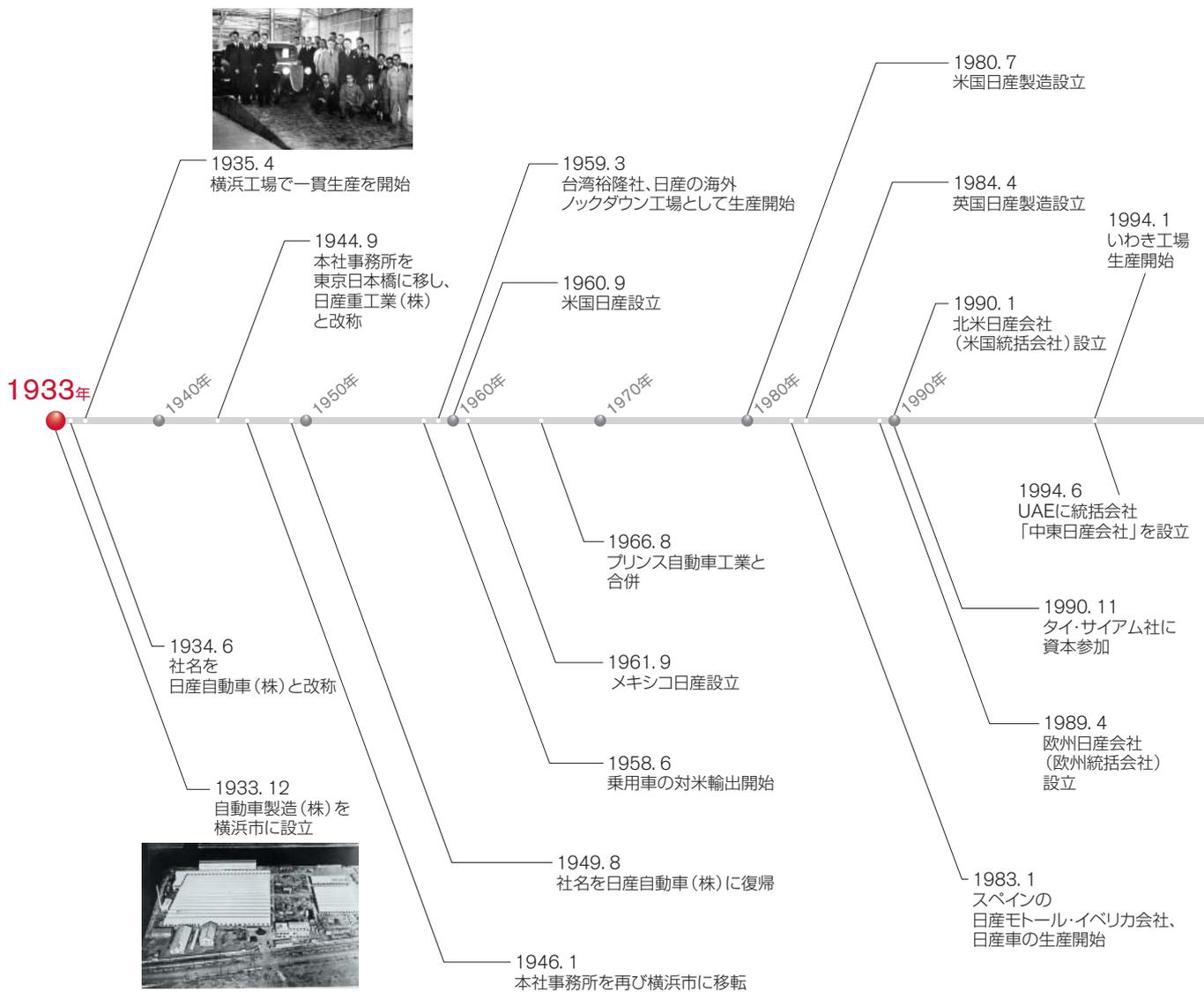


会社沿革



日産自動車 グループ概要

● **本社所在地**

東京都中央区銀座六丁目17番1号

● **設立**

1933年12月26日

● **連結売上高(2004年度)**

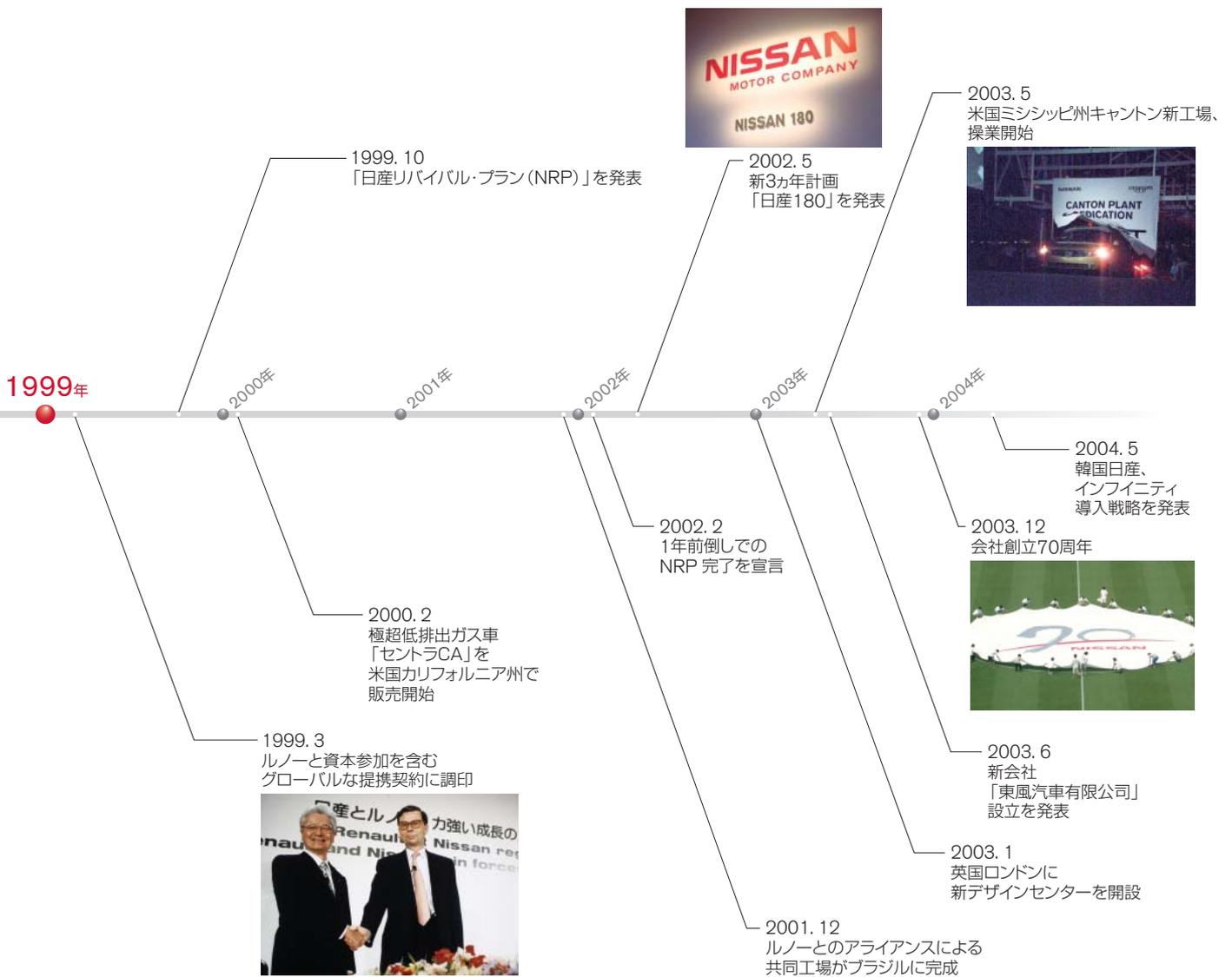
8兆5,763億円

● **連結従業員数(2005年3月末現在)**

183,607人

● **構成・事業内容**

日産グループは、日産自動車株式会社とその子会社、関連会社等で構成されています。「自動車」「フォークリフト」「マリーン」およびそれぞれの「部品」の製造・販売を主な事業内容としており、さらに同事業に関連する「物流」「金融」をはじめとした各種サービス活動を展開しています。



● **ビジョン**

日産: 人々の生活を豊かに

● **ミッション**

わたくしたち日産は、独自性に溢れ、革新的なクルマやサービスを創造し、その目に見える優れた価値を、全てのステークホルダー*に提供します。それらはルノーとの提携のもとに行っていきます。

*ステークホルダーとは、お客さま、株主、社員、販売会社、部品メーカー、そして、私たちが働き事業を営む地域社会を指します。

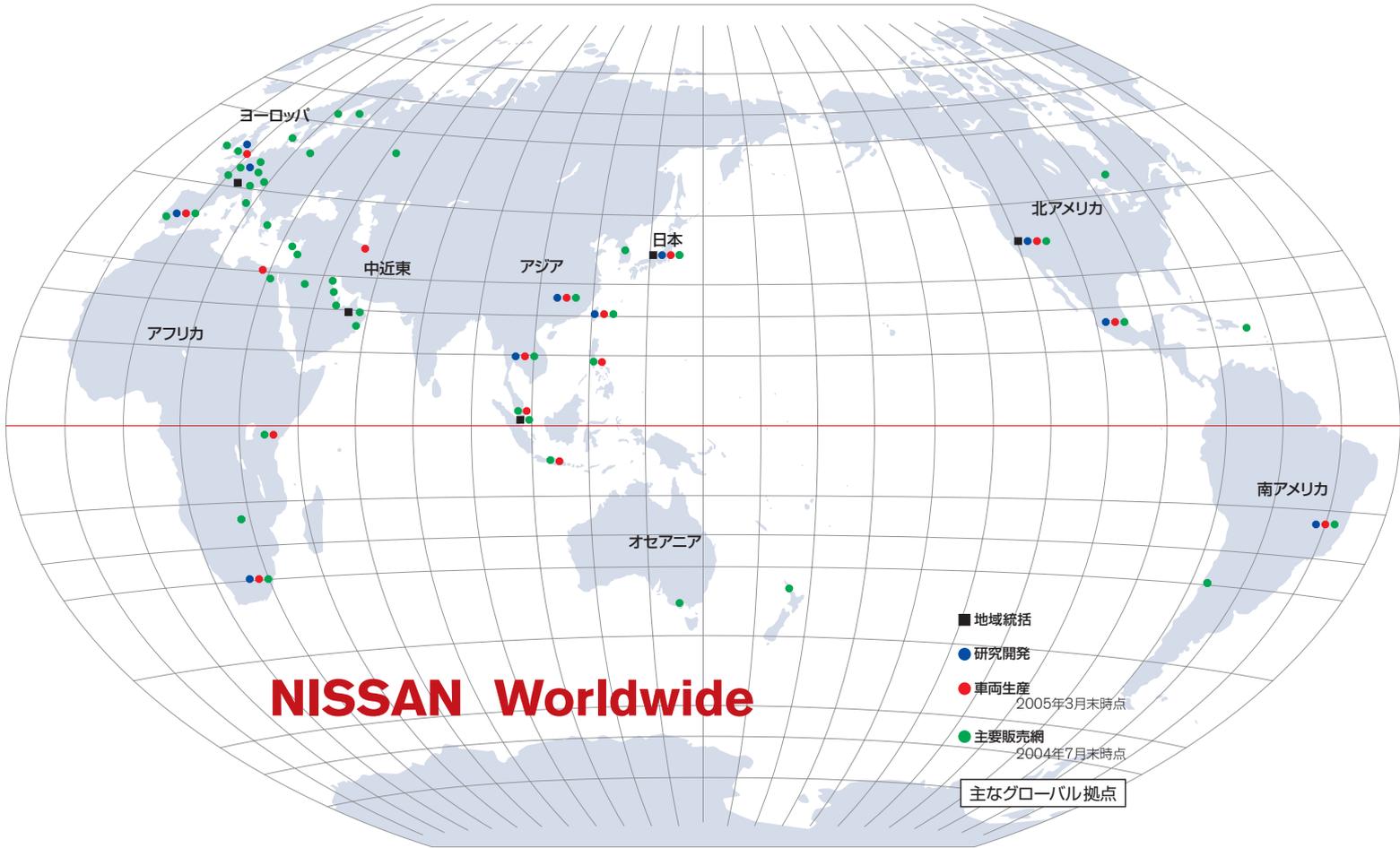
● **指針**

SUCCESS
サクセス

- S** 利益ある成長
Seeking Profitable Growth
- U** 独自性に溢れ革新的: 誠実に考え抜き、大胆に行動する
Unique and Innovative: "Bold and Thoughtful"
- C** お客さま志向と環境志向
Customer-Focused and Environmentally Friendly
- C** クロスファンクショナルかつグローバル
Cross-Functional and Global
- E** 利益志向
Earnings and Profit Driven
- S** スピード
Speed
- S** ストレッチ
Stretch

グローバルな事業展開

日本、米国、メキシコ、欧州、中東、南アフリカ、中国、東南アジア諸国など世界各地に拠点を持つグローバル企業として、日産は「人々の生活を豊かに」のビジョンのもと、すべてのステークホルダーに価値を提供していきます。



- 研究開発拠点：11カ国・地域
- デザイン拠点：4カ国・地域（日本、米国、英国、台湾に7カ所）
- 地域別販売台数（2004年度）

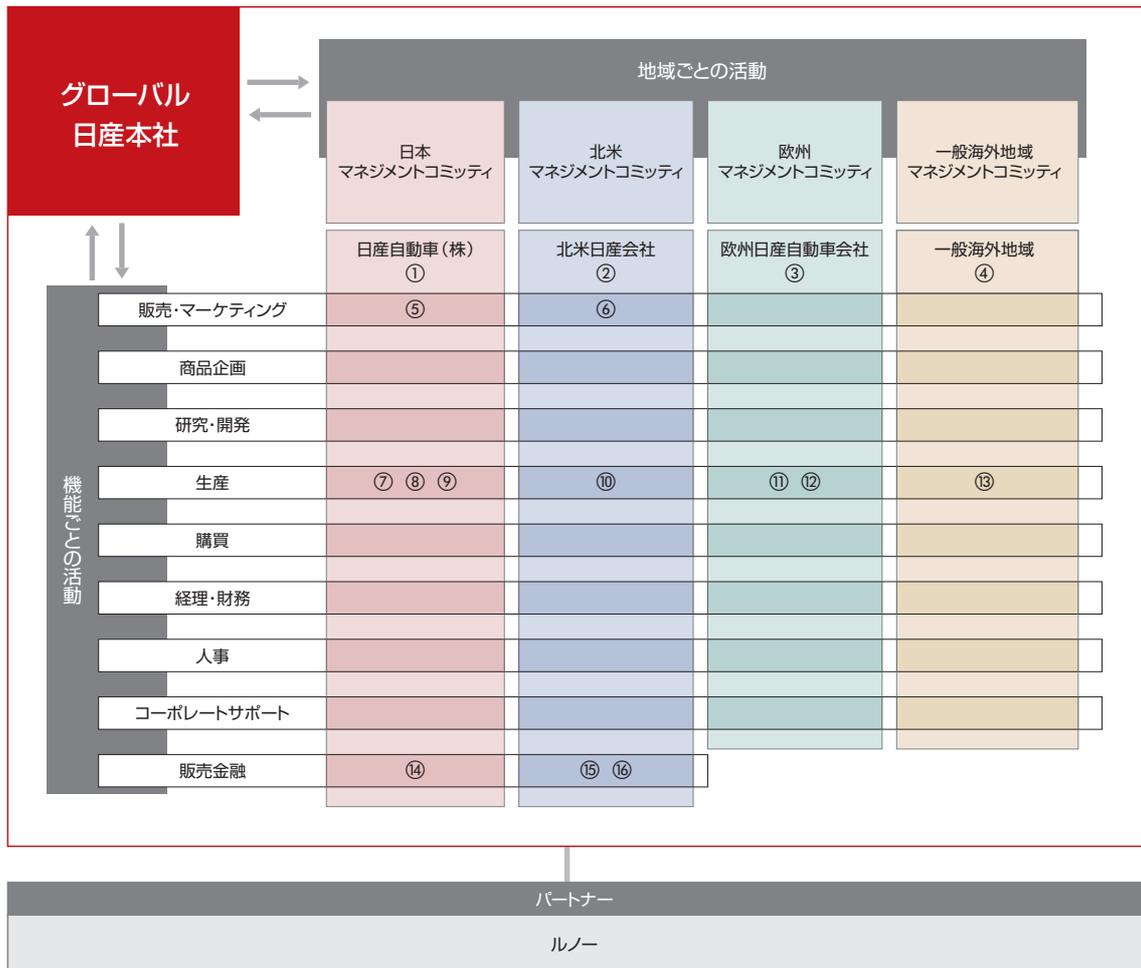
- 車両生産工場：16カ国・地域
- 販売ネットワーク：世界160カ国以上約10,000のディーラーで販売



●グループ運営形態

「日本」「北米」「欧州」「一般海外地域」の4地域それぞれのマネジメントコミッティ(経営委員会)が管轄する「地域ごとの活動」と、研究・開発・購買・生産といった各部門が世界的に展開する「機能ごとの活動」を有機的に統合した組織と

しています。そして、この地域ごとの活動と機能ごとの活動に対し、世界的な本社機構である「グローバル日産本社」が、組織横断的な見地から付加価値を与えることで、グローバルに一体となったグループ運営を行っています。



- 本社／統括会社／地域会社
- ①日産自動車(株)
 - ②北米日産会社
 - ③欧州日産自動車会社
 - ④アジア・パシフィック日産会社
 - 中東日産会社
 - 東南アジア日産会社
 - ほか

- 車両製造・販売会社／販売会社
- ⑥カナダ日産自動車会社
 - ⑩メキシコ日産自動車会社
 - ⑬南アフリカ日産自動車会社
 - 東風汽车有限公司
 - ほか

- 車両製造会社
- ⑦日産車体(株)
 - ⑧日産ディーゼル工業(株)
 - ⑪英国日産自動車製造会社
 - ⑫日産モーター・イベリカ会社
 - ほか

- 販売金融会社
- ⑭(株)日産フィナンシャルサービス
 - ⑮米国日産販売金融会社
 - ⑯エヌアール・エフ・メヒコ社
 - ほか

- 部品製造会社
- ⑨愛知機械工業(株)
 - ジヤトコ(株)
 - カルソニックカンセイ(株)
 - ほか

- 日本国内販売会社
- ⑤愛知日産自動車(株)
 - 東京日産モーター(株)
 - 日産プリンス東京販売(株)
 - ほか

NISSAN Value-Up



「日産180」は、その完了を待たずに、すでに当初の目標のうちの多くを達成しました。日産は利益ある成長の新たな段階に入りましたが、それ以上に重要なことは、その成果によって社員の中に新たな誇りが生まれ、将来に対する自信が高まったことです。

2005年4月より日産は未来に向けてさらに意欲的な「日産バリューアップ」に取り組み始めました。この新たな3ヵ年計画は、これまでの「日産リバイバルプラン」や「日産180」と同じく、その目的とする意図が明確で、それを達成しようとする強い決意で進められます。「日産バリューアップ」では、以下の3つの目標を掲げています。

- ・ 同計画の期間中3ヵ年の各年度においてグローバルな自動車業界の中でトップレベルの営業利益率の維持
- ・ 2008年度においてグローバル販売台数年間420万台の実現
- ・ 同計画期間中平均で投下資本利益率 (ROIC) 20% (手許資金を除く)

同計画のもとで、日産は全世界でのプレゼンスの向上を図ります。その一環として、インフィニティを世界一流のラグジュアリー・ブランドとして投入していきます。

そして、2007年度末までにグローバルで、28車種の日産ならびにインフィニティ・ブランドの新型車を投入します。

日産は今後の取り組みの指針となるこの計画に従い、これまで以上に広範なグローバル市場の、より多くのステークホルダーの皆さまに対して、さらなる価値を創造していきます。

日産バリューアップの3つの目標

利益コミットメント

・各年度においてグローバルな自動車業界の中でトップレベルの営業利益率の維持

台数コミットメント

・2008年度においてグローバル販売台数年間420万台の実現

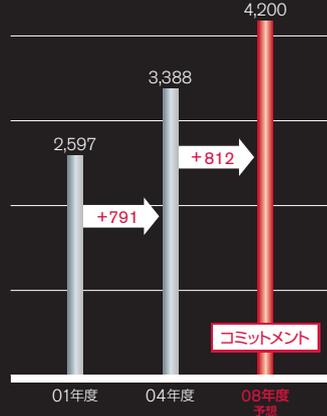
投下資本利益率

・同計画期間中平均で投下資本利益率 (ROIC) 20% (手許資金を除く)

連結営業利益率 (%)



グローバル販売台数 (千台)



投下資本利益率：ROIC〈自動車事業〉 (%)



※2004年3月末時点より増加したキャッシュを除外し、損益報告書と同様の連結対象範囲を適用

グローバル新型車投入計画：2002年度～2007年度 (台)

